

飛躍

HIYAKU

第405号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2021年3月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

卒業おめでとう!!

TOP*NEWS

高校・中等部第3学年 総長賞・総代・各賞受賞者決まる

テニス部 全国大会出場決定!

高校

東海大学総長賞
10組 牛山 怜奈



卒業生総代
5組 西田 結名



東海大学生徒会功労賞
10組 廣田 雅音



優等賞

10組 阿島 里穂



3力年皆勤賞(代表)
10組 坂本 康太



中等部

東海大学総長賞
B組 須藤 礼名



卒業生総代
A組 足立 望



東海大学生徒会功労賞
B組 須藤 礼名



優等賞

B組 中石 燎



3力年皆勤賞(代表)
B組 森内 健史



2020年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で以下の25名と1団体の日頃の努力に対して表彰します。

高 校

東海大学奨学生  10組 鈴木 亜蓮	東海大学特別奨励推薦(代表)  1組 猪子 健斗	3カ年精勤賞(代表)  6組 速水 謙	1カ年皆勤賞(代表)  9組 内田 菜央	1カ年精勤賞(代表)  6組 高橋 礼也
東京都知事賞  8組 落合 彩羽	日本私立中学高等学校連合会賞  4組 熊坂 真治	東京都私学財団奨励賞  10組 渥美 貴世	東京都体育協会優良生徒   3組 横山 歩夢 (サッカー部) 6組 鈴木 花梨 (ダンス部)	
東京都高等学校文化活動優良賞   6組 小松原 来未 (放送部・建学祭実行委員長) 9組 中山 大輝 (物理化学部)		東京都高等学校体育連盟柔道賞   2組 木戸 夕葵 6組 石間 勇斗		東京都高等学校野球連盟賞  7組 森田 旺訓
東京都高等学校軽音楽連盟賞   4組 西尾 光里 5組 三浦 桃香		東京都高等学校ソフトテニス連盟賞   7組 小見山 凌一 8組 高波 慈哉		高校生新聞社賞 テニス部

中 等 部

3カ年精勤賞(代表)  A組 間瀬 健生	1カ年皆勤賞(代表)  A組 福島 瑠那	1カ年精勤賞(代表)  B組 藤井 龍太郎	日本私立中学高等学校連合会賞  A組 高野 誠人	東京都体育協会優良生徒   A組 丹羽 綱己 (剣道部) B組 吉澤 咲良 (ソフトテニス部)	
---	---	--	---	---	--

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。 2021年2月18日現在

卒業する皆さんへ

新たな道へ



井上 奈菜
生徒会会長 2年6組

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
思えば、私たちにとって先輩たちは、先生や家族以外で得ることのできるもう一つの「師」でもありました。
一緒につらいことや悔しいことを乗り越え、嬉しかった喜びを共有すること

できる存在でした。そして、先生や家族からは学べないようなことをたくさん与えてくれたかけがえのない存在でした。先輩たちから教わったことや残してくださった思いを、これからは私たち後輩が途絶えさせずに紡いでいきます。

先輩方が過ごしてきたこの高輪台での時間は、あっという間に過ぎたのではないのでしょうか。人の持つ時間は誰にでも平等で有限なものです。この春から環境が変わり、それぞれ新しい生活が始まり、自分の進む道へと期待に胸を膨らませていることと思います。楽しいこともあれば、壁にぶつかりつまずくこともあるかと思いますが、これからの人生は自分の努力次第で無限の可能性を秘めています。どうか高輪台での経験と努力を忘れずに自分の力を信じて、輝く未来を築いていけますよう、ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

継続は力なり



今西 俊貴
後援会会長

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症禍でさまざまな行事が中止・縮小になった一年間でしたが、最上級生として引っ張っていただきました。誠にありがとうございました。

さて、「継続は力なり」という言葉があります。私は自身で体験してこの言葉が好きになりました。私は、東京マラソンの第一回大会に参加しました。高校・大学・社会人とラグビーを行っていたので体力には自信があり、ほとんど練習をしなくて当日になりました。初めの10kmは快調に飛ばして前の人をどんどん抜かしていきましたが、練習不足で足が動かなくなりました。私よりあきらかに年配の方々にどんどん抜かれていきました。まさに「継続は力なり」を実感しました。

卒業される皆様は、これから各々が目指す道に進んでいきます。時にはうまくいかないことがあると思いますが、「継続は力なり」という言葉を思い出して自分の夢に向かって突き進んでいってください。

スペシャリストを目指そう!



竹中 輝夫
部活動後援会会長

卒業する皆さん、おめでとうございます。
3年前の入学式で私は皆さんに「付属校のメリットを生かし、放課後の時間を自分の得意分野を探し、伸ばす時間に使ってください」とお願いしました。皆さんは実行できましたか?

自分の得意分野を持ち、スペシャリストになることが、コロナ禍で働き方が大きく変わるこれからの社会では重要になります。

今までは職務や勤務地を限定せず、総合的なスキルを持つ人材を企業は雇用してきました。しかしニューノーマル時代のこれからは、専門性の高いスキルを持つ人材、スペシャリストを雇用する企業が増えてきます。IT、IOT、AIの時代。モノづくりは中国、ベトナム、インドが中心となり、国内の多くの企業が求めているのは創造力、企画力、提案力を備えた専門スキルを持つ人材です。最近では自ら起業する人(スタートアップ)も増えています。

高校で、自分の得意分野を見極め、大学で得意分野を深掘りし、時代に即したスペシャリストになる。終身雇用は約束できないと企業は公言しています。一つの会社に縛られることなく、飛躍するために「得意分野」を身につけることに、積極的に取り組んでください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

新しい展望への道へ



内村 宏幸
高輪会会長

卒業生の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。皆さんは、昨年からのコロナ禍で、勉強や部活動等、大変ご苦労されたことと察します。昨年からの生活様式が変わり、人との距離を取ることが定着しつつありますが、その中で、いかに人と人の絆を育むかが重要

です。なぜならば、人間は他者との関係性の中で磨かれるものだからです。一番大切なものは人と人の関わり方です。家族、友人、同僚、そして恩師との関わりの中で自己の成長と新しい展望が開けるのです。これから先、幾多の困難とぶつかる時もあるでしょう。一緒に学んだ友の励ましや、たった一通のメールの助言が人生を変えるかもしれません。このような真心の励ましは、消えない声となって心に響き続けることと思います。さらには、皆さんがどんな逆境にあらうとも、保護者の皆さんは、いつも味方となって見守ってくださっていることも、どうか忘れなてください。皆さんは卒業後、同窓会高輪会の仲間となります。どうぞ卒業後も、同級生とのコミュニケーションの場として高輪会を活用してください。最後に、皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、希望を胸に、自己の目標を達成させてください。

2020年度 卒業記念品紹介

高等学校第72回、中等部第12回の卒業記念品として、以下の物を贈呈していただきました。大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

- 卓上丁合機
- データプロジェクター
- A3カラーレーザープリンター
- フットサルゴール
- フットサルゴールネット



データプロジェクター VPL-PH50



プリンター LP-S7180Z



丁合機 DFC-100NII



フットサルゴール EKD775

2020年度学校運営方針

今回が、今年度の本校の教育活動を行っていく上での「実践目標」についてご紹介する最後となります。本校には、中等部や高校、その先の大学や社会で「やりたいこと」があって入学してきた生徒たちがたくさんいます。そのような生徒たちが目標を達成できるように、授業だけでなく、部活動や行事などを通じて、生徒の成長を促し、社会で活躍していくために必要な「生きる力の育成」を教育活動の目標としています。

2020年度の【実践目標】

● 情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、教職員・生徒の情報教育の推進を図る

現在はインターネット社会で、PCやスマートフォンがあれば、どこにいてもたくさんの情報を手に入れることができます。本校では、BYODシステムを導入して、生徒一人ひとりが、自分のタブレットPCを活用して得た情報を適切に活用して、課題の解決に主体的に取り組む手法を授業に取り入れています。高校1年生の「高校現代文明論」、2年生、3年生で履修する「探究活動I」、「探究活動II」の授業では、日常生活の中で、疑問に思うこと、問題に感じることにについて、自分でテーマを設定して、情報を集め、調査・考察して、それらをまとめ発表することを通して、情報を活用する力、発信する力の育成に取り組んでいます。

● あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい人間関係をつくりあげる

生徒たちは、行事を通して、他者と協力したり、競い合う場面を経験します。このような経験を経て、達成感、充実感を味わうことができ、自分やクラスに自信と誇りを持つことができるようになります。そして、自分たちが努力することによって、他者の努力に気づくことができ、他者を認め、大切に思う気持ちを持つことができるようになります。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小、中止となった行事もありましたが、これからも行事を通して、人間性豊かな人材の育成を目指していきます。

SSH活動報告

3年生がオンライン発表会に参加

千葉大学高大連携支援室「高校生理科研究発表会」(12月21日～28日)

3年10組 石田 航一郎

砂糖電池第二弾 ～実用性の向上を目指して～

東海大学付属高輪台高等学校 3年
石田航一郎 千葉佳

今回、私は課題研究について発表させていただきました。新型コロナウイルスの影響で、パワーポイントのスライドを録画しての発表という形になってしまいました。そのため、動画を撮影しなければならなかったのですが、撮り直しができてしまうので、何度も言い間違いなどを直していたらかなりの時間を要してしまいました。2人で実験をしていたので、ペアの千葉くんの話方がうつつしてしまうなど、苦労はしましたが、そのぶん良いものができました。2年生から2人で試行錯誤を重ね、実験してきた成果を発表することができ、よかったと思います。パワーポイントの扱い方や言葉の使い方、見ていただいている相手へより簡単に伝えることなど、動画での発表でしか経験することができないこともありましたが、今回の発表会は私たちにとってとても有意義なものでした。大変でしたが、今では楽しかったと思えます。

兵庫県立豊岡高等学校「豊高アカデミア～探究・課題研究発表会～」(2月6日)

3年10組 福住 直翔

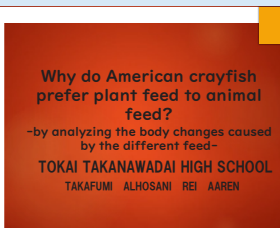
スーパーボールの弾性

東海大学付属高輪台高等学校 福住直翔、原田直、白石真輝

新型コロナウイルスの影響で、今回の発表会ではZoomを用いてオンラインでプレゼンテーションを行いました。発表した内容は「スーパーボールの弾性の研究」です。この研究は、スーパーボールを構成している物質のうち、一つの分子量を変化させていくとスーパーボールの弾性にどのような影響を及ぼすかということを実験したものです。オンラインの発表で苦労したところは、相手の反応が直でわからないという点です。普段のプレゼンテーションでは相手の反応に合わせて発表を進行していく、間の取り方などを決めることができます。しかし、オンラインでの発表では相手の反応を予測しながら話していかなければなりません。今回の発表で、オンライン発表の場合にはどのようなことに注意して発表しなければならないのかということがわかったので、今後に生かしていきたいと思えます。

海外の高校生と協働研究を実施

3年10組 小松 昂史



私たちはタイ王国の高校生と共同研究を行いました。最初は共同研究に選ばれるとは思いませんでしたが、とても驚きました。私たちが行っていた実験はアメリカザリガニの生態調査です。日本では一般的な生物ですが、タイには野生のアメリカザリガニがいなくて、ザリガニの種類は違いましたが、お互い期待どおりの実験結果になり、とてもよかったです。ただ、私は日本語を英語に訳するのが苦手で、発表する時や質疑応答が何よりも大変でした。また、リモートでのやりとりだったため、実際に会うのと違って少々やりづらいつつもありました。だから、私一人ではやり遂げることは難しく、先生方のサポートや仲間の助けによってここまで来ることができました。最後に、今回の共同研究で仲間の大切さやコミュニケーション能力、英語の重要性を実感することができました。この共同研究をきっかけに、たくさんの方の学びが広がりますように。

小・中学生を対象とした科学教室を開催

ファミリー・スーパーサイエンス教室(1月11日)

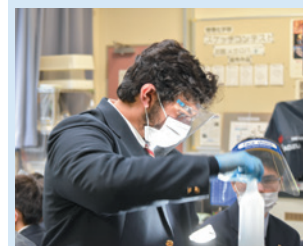
1年10組 遠藤 花緒



私は「ペットボトルで雪を作ろう」というテーマでファミリー・スーパーサイエンス教室に参加しました。参加するのは初めてでわからないことばかりでした。さらに今回は新型コロナウイルスの影響により、多くの参加者を募って教えることができませんでした。しかし、同じチームの先輩や先生の丁寧な指導やお手伝いのおかげで自分のやりたいことができました。また、小学生に教えているうちにどうしたら正しく簡単に伝えられるのか、理科は難しいものではなく楽しいものだということが伝わるのかを試行錯誤しているうちに、自分の言葉に自信が持てたり、笑顔で説明できるようになったりしていくのを実感しました。また、先輩は「教えるのが上手だね」「話すのが上手」とたくさん褒めてくださり、とても良い経験ができたと思います。来年度は先輩や先生がしてくださったように、自分のことだけでなく後輩にやり方を教えるなどやりたいことを手伝えるような、より良いファミリー・スーパーサイエンス教室にしたいと思います。

サイエンスコミュニケーター活動(1月28日・29日)

3年10組 アブドゥラ アルマンズーリ



僕は「太陽の光と空色～なぜ空は青いの?～」という実験を行いました。何をどうすればいいのかわかんないけど、どうやって実験をするのかと一緒にいたチームの仲間が最初から最後まで教えてくれました。自分ができるだけ納得することができるように頑張っていました。練習で一番きつかったのは、ペットボトルに入れた水と石鹸を粉にしたものを混ぜる時です。ちゃんと濃くないと実験は失敗になります。本番の日、中学生に実験を紹介したとき緊張してしまいましたが、2回くらいやっただけは慣れていきました。そして笑顔になっていった中学生がいたので、それが一番よかったと思います。ぜひまたいろいろな活動に参加して、もっといいプレゼンテーションや実験を行って、もっとたくさんの人をサイエンスが好きにしていきたいと思います。

学年だより 中1

1年間の思い出

生徒たちの1年間の学校での様子です。1月14・15日には高校SSHクラスの生徒たちに「日常の科学」を体験させてもらいました!



学年だより 中2

「知性と品性、そして感性を」 — 当たり前が当たり前でなくなる時に

学年主任 種田 直孝

「知性と品性、そして感性を」—この言葉は本校の校訓として、各教室に掲示されています。本校は東海大学の付属学校ですので、東海大学の教育の指針である4つの言葉「建学の精神」がありますが、高輪台高等学校中等部にはこの校訓があります。

知性とは物事を知り、考え判断する能力のことをいいます。品性とは道徳的規準からみたその人の性質のことをいいます。同じような言葉で、品行、品格という言葉がありますが、品行は行動や態度のこと、品格は物事から感じられる雰囲気や表現されるものです。そして、感性とは、何かを見たり聞いたりしたときに深く心に感じ取ることや、感覚的に物事に対して感じることをいいます。

さて、今年度4月から新2年生が始まりましたが、昨年度では全く想像できないような、今までの生活が一変するような始まりでした。人類が今まで出会ったことのない新型コロナウイルスです。昨年度3月に政府の突然の全国一斉休校の発表に始まり、人と人の接触が分断され、本校の学校生活が再開されたのは6月を迎えてからでした。例年であれば、4月から新クラスになり新たな学校生活が始まるはずが、4月になっても登校することができず、インターネットを利用した授業を受けて始まった新学期でした。

現在においても新型コロナウイルスの問題は連日ニュースでも報道され、感染拡大がまだ収束をみせない状況であり、この原稿を記述している今も、緊急事態宣言の真ただ中であります。このように、当たり前が、当たり前にならない現在であるからこそ、先に述べた「知性と品性、そして感性を」を思い出してもらい、自身の生活に生かしてもらいたいと思います。

さまざまな情報が飛び交う現代社会では、何を信じてよいかの判断に迷う場面があります。今、何が起きていて、今何が何を必要とすることが必要です。そして、何をすべきか、どう行動すべきかを改めて考えてみてください。そして、そこから感じる感性を磨いてほしいと思います。私は特に、この「感性」をどう磨くことができるかが、人間力の向上に最も重要な鍵があると思っています。例えば、今年も大雪の影響により、数百台の車が、立ち往生したというニュースがありました。そのニュースの中で、自発的に食事を提供したり、何か困っていることはないかと無償の人助けをされたボランティアの方々がありました。このニュースを聞いてどのように感じるでしょうか? ニュースを聞いて、何か困っていることがないか? と感じる感性、感じたことを実行できる行動力。また、とても小さなことかもしれませんが、廊下にゴミが落ちていたとします。何人かの生徒は気づいていないのか、視界に入っていないのか、わかりませんがゴミが落ちていても素通りする人がいます。しかし、その落ちていたゴミを何も言わず拾って捨ててくれる人もいます。この些細な行動こそが、最も大事な感性につながっていきます。周りの状況を把握して、行動する、実践する感性が備わることこそ、社会生活において大切な鍵となるのではないのでしょうか。

人と人との物理的な距離(ディスタンス)を十分にとる必要がある時期こそ、感性豊かな心の距離感、より近づけることが求められるのではないのでしょうか。皆さんには、そんな感じられる、考えられる人になってほしいと思います。

来年度は中等部最高学年を迎えます。どんな状況になるか、先の見えない状況に変わりはありませんが、知性と品性そして感性を持って、これからの一日一日の時間を大切に過ごしてほしいものです。

学年だより 中3

祝・卒業!

いよいよ卒業証書授与式までわずかとなりました。卒業にあたって、学年の先生方からメッセージをいただきました。

桜の季節によせて

学年主任 小松原 洋行

桜前線がちまたで囁かれるようになり、いよいよ卒業の季節がやってきました。日本を代表する花といわれる桜。開花にはチョットしたコツが必要なことを知っているでしょうか。桜は寒い冬をグッとこらえて蕾を膨らませ、暖かな春になると一気に花を咲かせます。気候変動のない場所では上手に花を咲かせることはできないのです。皆さんは本校中等部での生活を通して多くの先生方や友人と接し、大きく夢を育んできました。中等部を卒業し、舞台は変わりますが、どうか夢の実現に向けて歩み続けてください。皆さんの蕾がほころび、美しく花開く様子を、少し離れた場所から、ずっと見守っています。卒業おめでとうございます。

活躍を期待して

A組学級担任 石川 仁

3年前、入学した時のことを覚えていますか。緊張した様子で入学してきたあの時、実は私も緊張していました。私にとって1年生の学級担任は初めてのことでした。新しく始まる部活動や行事など、多くのことに皆さんが胸を膨らませると同じように、私も皆さんの成長に期待で胸いっぱいでした。3年間過ぎて、どうでしたか。期待通りでしたか。私は、期待した以上に皆が成長してくれて、すごく嬉しいです。そして皆と共に学校生活を送る中で、私自身も成長させてもらいました。

中等部生活が終わろうとしている今、新たなことに、心ときめかせていることでしょうか。中等部で培ったことを生かし、これからも活躍することを切に願います。今から皆さんの活躍を耳にするのが楽しみです。たまには高校での様子を話しに来てくださいね。卒業おめでとう。

全力で挑む姿勢

B組学級担任 荒堀 夏彦

もう卒業ですね。中1の三保研修での出来事が昨日のこのように思います。他学年として少し離れて見ていた中1、学級担任となった中2、両クラスの授業を持つことになった中3。私の教員生活で3年間関わった生徒は皆さんが初めてです。私の思いは届いていますか? 私は常に全力で接してきたつもりです。たくさんの時間をかけたつもりです。高校生はもう義務教育ではありません。自分でいろいろなことをしていかなければなりません。皆さんも常に全力を尽くせる人間になってほしいと思います。やることすべてに手を抜かず、時間がある限り努力を続ける、そんな人になってください。高校生としての3年間は、この中等部生活と同様にあっという間だと思います。しっかりとやりたいことを決め、やらなければいけないことを見極め、後悔のない高校生活にしてください。皆さんの卒業後、私の一番の楽しみは皆さんの頑張っている姿、活躍している姿を見ることです。すべてに全力で挑み、輝いてください。

新たなる目標へ

学年所属 及川 奈々

ご卒業おめでとうございます。

私は今年度皆さんに、学校生活、特に国語の授業を通して「努力をすれば届くゴール」を多く設定してきました。今までよりも量の増えた漢字テストや動画でのピリオバトル、推薦入試のための小論文など、慣れないことだらけだったと思います。ですが、どんな時でも皆さんはその努力の成果を見せてくれました。努力ができることは、この先のどんな場面においても武器になります。そしてその努力を今度は、自分が思い描く高校生活を叶えるためにしてください。

皆さんがいなくなった2階のフロアを想像すると少し寂しいですが、新たなる目標に向かって努力する姿を見られることを、とても楽しみにしています。

学年だより 高1

現代文明論学年発表会

12月21日、本校放送室・分級教室から生放送で、「現代文明の諸問題を考える」というテーマで高校現代文明論の学年発表会が開催され、最優秀賞と優秀賞が選出されました。その感想を紹介します。

最優秀賞

3組「フェイクニュースの向こう側」

発表者 榎並 叶笑

このたびは最優秀賞をいただき、嬉しく思っています。今回発表させていただいた「フェイクニュース」というテーマは、日常に潜む深刻な問題であり、現代を生きる私にとって、向き合う課題の一つです。私の発表が、少しでも皆さんに届き、考えるきっかけになれば幸いです。ありがとうございました。



優秀賞

9組「人間と核」

発表者 宇田川 英吾 / 佐藤 寛之

今回の発表では、戦争や人権、環境問題について発表していたグループが多くありましたが、それらの問題のほとんどが人間の作り出したものであるということに気づかされました。そして私たちの発表した核についても同じです。だからこそ、人間が責任をもって解決しなければならぬと改めて感じる良い機会になりました。(文責 宇田川 英吾)

10組「すべての人に健康と福祉を」

発表者 千葉 美穂 / 勝村 圭太 / 柳澤 孝太

今回私たちは日本の高齢化問題に注目し、企業連携で知ったユニロボット社のAIロボットが日本の介護に生かしていけると考えました。学習を進めていくと、日本の介護業界は私が想像していたよりも危機的状況にあると知りました。今後の介護業界の発展には科学技術の向上が必要とわかったので、私も貢献できるような日々の学習に力を入れていこうと改めて感じました。(文責 柳澤 孝太)

模範ディベートを体験して

1月12日、2階の分級教室から生放送で、「模範ディベート」を行いました。議題は「日本はすべてのインターネット上での言動について、利用者のID併載を義務化すべきである。是か非か」でした。参加した生徒の感想を紹介します。

1組 井出 亜梨沙 (否定側立論)

初めてのディベート大会への参加にとても戸惑いました。また、議題が世論でも肯定側が強いなか、否定の意見を論理的に話すのはとても難しかったです。この経験をもとに、ディベート以外でも意見が必要な場面で生かしたいです。

2組 浅井 海翔 (否定側第一反駁)

私は、第一反駁を任せられました。相手を否定しつつ自分のチームが有利になるように導くのは難しかったです。ディベートがどのようなものを体験でき、貴重な経験になりました。

3組 諏訪 巨輝 (否定側記録)

私は、否定側の記録係でした。相手の意見を素早くまとめ、チームに助言する役割を果たしました。とても貴重な経験になりました。

4組 石塚 俊輝 (肯定側立論)

私は、今回のディベートで、立論がとても大切だとわかりました。自分の立論次第で展開に大きな影響を与えるので、緊張しました。でも、仲間と協力して良いディベートができてよかったです。

5組 在國寺 康介 (否定側質疑)

私は、否定側質疑を務めました。同学年全体が見ていると思い、緊張しすぎてしまったことが今でも悔やむべき点です。しかし、ディベートを実際に行い、身をもって詳しく知る体験ができたのでよかったです。

6組 田中 琉貴 (否定側第二反駁)

私は、否定側の第二反駁を行いました。相手の発言を聞き即座に自分の意見を伝えるので、考えを伝えきれない点もありました。この経験を生かし、今後は臨機応変に対応できるようにしていきたいです。

7組 望月 理玖 (肯定側第一反駁)

事前に、論題に対し肯定する材料を調べ、自分の言葉で発言することはとても難しかったです。このディベート大会で、「仲間と協力することの大切さ」と「発言は、根拠があることを述べる」ということを学ぶことができました。

8組 内田 皓 (肯定側記録)

ディベートは初めての経験でとても不安でした。しかし、チームメイトと協力し、助け合うことができました。結果は負けでしたが、ディベートで経験したことを自分の将来に生かそうと思います。

9組 佐藤 寛之 (肯定側質疑)

ディベートという言葉だけは知っていて、実際どのようなものかは知りませんでした。しかし今回のディベートで、対戦形式で行うものだと知りました。実際やってみると、チームでの連携や情報収集の大切さがわかりました。全体を通して、とても面白くてよかったです。

10組 原園 珠里 (肯定側第二反駁)

議題は少し難しく、理解するのも苦労しました。私は第二反駁として即座に対応する立場でしたので一層大変でした。しかし、議題のような社会問題について考える機会が少なかったため、とても良いことが学べました。

学年だより 高2

多くの部活動では、中心が2年生に切り替わりました。皆さんの活躍を期待しています。

新部長紹介

運動部

陸上競技部	2組 大谷 蓮	バドミントン部	8組 粕川 航平
男子バスケットボール部	5組 雨宮 柊翔	柔道部	1組 新井 恒太
女子バスケットボール部	8組 片岡 姫菜	剣道部	9組 片桐 俊
男子バレーボール部	8組 子吉 郁也	弓道部	4組 柴田 祐介
女子バレーボール部	8組 檜貝 保波	テニス部	4組 榎本 壮汰
ソフトテニス部	8組 田中 雄大	アーチェリー部	7組 根本 佳依
スキー部	5組 萱場いずみ	野球部	5組 小笹 敦史
卓球部	9組 折笠 響紀	ゴルフ部	10組 新井 涼也
ラグビー部	7組 岡崎 優生(キャプテン)	ダンス部	1組 川本 渚
サッカー部	1組 谷地田拓未	アメリカンフットボール部	5組 菅野 怜王

文化部

放送部	9組 井口 義隆	茶道部	4組 川出 菜月
吹奏楽部	8組 金山 美月	軽音楽部	5組 齋藤 圭
物理化学部	10組 常森 允道	マルチメディア部	6組 南 俊介
美術部	3組 仁藤 夢乃		

※現高校2年生が新部長にならない部活動、同好会につきましては割愛させていただきます。



小笹 敦史 野球部部長

野球部の部長として、初の甲子園出場を目指し鍛錬していきたいです。そのためには、毎日の練習から部長としての自覚を持ち、チームのことを最優先に考え、質の高い練習でより強いチームになれるよう日々精進していきます。また、生活面でも野球部の部長として恥ずかしくない行動で、みんなから信頼される人になりたいです。そしてすべてのことに感謝し責任ある行動をしていきたいです。



川本 渚 ダンス部部長

先輩から代を引き継ぎ、自分たちが部活動を引っ張る立場となりました。さまざまな壁に直面するかもしれませんが、これまでの経験を生かし部長として部活動を引っ張ってきたいです。今年のダンス部の目標は「完全燃焼」です。1つ1つに全力を注ぐという意味で、部活動だけではなく学校生活も全力で取り組み、学校全体から応援される部活動になれるように、また最近ではコロナ禍での活動となっているため、部活動を盛り上げていけるように頑張ります。

代表して4部活動の部長よりコメントをもらいました



谷地田 拓未 サッカー部部長

サッカー部がたくさんの人に応援されるよう学校生活から手本となり、チームを引っ張っていけるように心がけていきます。また、部活動では常に周りに目を配り、チームを鼓舞していけるようにしていきたいです。私たち新高3は、去年、一昨年と悔しい結果に終わってしまった先輩方の背中を見てきました。今年こそは全国大会に出場し結果を残せるよう、日々の練習から精進していきたいです。



金山 美月 吹奏楽部部長

今年度は今までに誰も経験したことのない状況の中でしたが、先生方や先輩方のおかげでたくさんの経験をさせていただくことができました。来年度も感染対策には十分注意しながら皆さんの演奏を多くの人に届けたいと思っています。また、コンクール、コンテスト復活の年でもあります。自分たちに悔いの残らない1年間を過ごしたいです。いつも練習のために教室を貸してくださる先生方、身近で応援してくれる保護者の方々に感謝して全力を尽くします。

学年だより 高3

卒業に向けて

特別講座も終わり、あとは卒業の時を待つだけとなりました。生徒たちはいろいろな思いでこの時期を迎えています。4月からの新しい生活に向けて、またはこれまでの思い出をかみしめて書いた感想をご覧ください。

1組 石田 結花子

特別講座では新しいクラスに馴染めるか不安でしたが、今では新しい友達ができたりして楽しく充実して過ごしています。2年間一緒にいるクラスメイトに会う機会が減りましたが、朝のHRなどの短い時間で、卒業まで思い出に残るように過ごそうと思います。

2組 吉田 岳

この2か月間の特別講座を通して、いつもと違うクラスメイトと過ごし、とても新鮮でした。大学での生活もとても楽しみでわくわくしています。私は観光学部観光学科に進学するので、特別講座で得た知識を生かし、それを発展させていきたいです。

3組 菅岩 亜海

一瞬のように感じた3年間の高校生活がもうすぐ終わります。特別講座は同じ教科でも先生によって授業内容が全く異なり、いろいろなことを学ぶことができました。高校で体験した良いこともそうでないこともすべて忘れずに、大学へ行って生かしていきたいです。

4組 永藤 未彩

3年生になった当初は、卒業がまだ遠いことのように思っていました。今となってはあっという間に過ぎてしまいました。特別講座で学んだことを生かして、より良い大学生活を送れるように、行動が制限されている中で、自分のできることをしっかりやっていきたいです。

5組 加藤 結愛

新型コロナウイルスの流行により、やり残したことはありますが、社会に目を向け自分たちの行動に責任を持ち、今できることは何かを考えたり、いろいろな面で成長できたのではないかと思います。学校生活を送る上でお世話になった方々に感謝の気持ちを忘れず、卒業の日を迎えたいです。

6組 山口 裕也

大学生活を控えて、今の心情は楽しみの方が大きい。楽しかった高校生活が終わってしまうのはとても惜しいが、大学では自分のやりたいことができる。今まで学んだことや経験を生かして大学生活を送り、勉強面でも今まで以上に頑張っていきたい。

7組 諸井 恵吾

充実した高校生活も残りわずかとなってきた今、僕はとても悲しい思いでいっぱいです。仲間と共に過ごせる時間も残りわずかなので、精いっぱい楽しみたいと思います。また、大学で良いスタートをきれるように、勉強もおこたらず、しっかりと最後までやり切りたいです。

8組 瀬田 哲也

残りわずか、3年間通った高校を卒業します。正直卒業という実感がありません。3年間はあっという間に過ぎてしまいました。たくさん学べたことができ、大切な仲間とも出会い、充実した高校生活を送ることができました。そして3年間通わせてくれた親や、見守ってくれた担任の先生などに感謝して、残りの高校生活を悔いなく過ごしたいです。

9組 原田 茂虎

新品のおいのする制服を着て、初々しい気持ちで登校した時から3年、卒業を間際にして達成感と空虚感が入り交じり、とても複雑な気持ちです。この3年間、二度と経験できない貴重な財産となりました。最後の最後までたくさんの思い出を作りたいです。

10組 アブドゥラ アルホーサニー

この3年間で一番印象に残ったのは、剛健旅行です。理由は、友達と一緒に話したり、歌ったりして山の中を歩くのが、きっとこれからもとてもいい思い出になると思います。1年生の時は友達を作るのにちょっと緊張していましたが、その剛健旅行で友達を多く作ることができました。

特別講座の一場面 ～名前ポエム～(新7・8・9組対象)

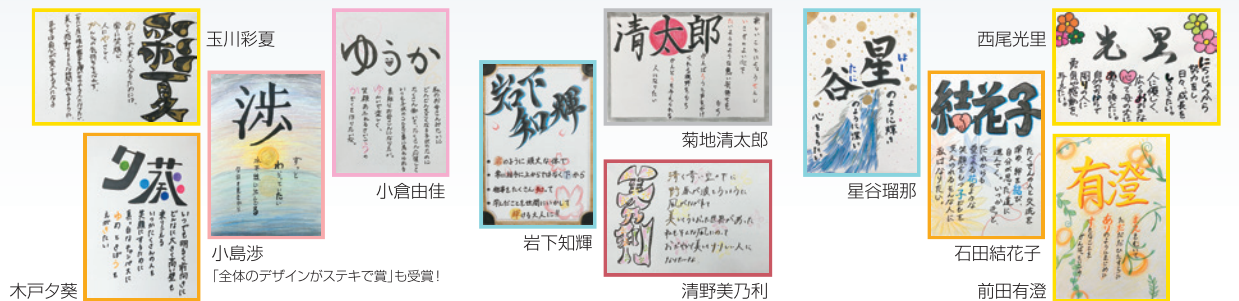
国語の授業で、将来なりたい自分についての詩＝「名前ポエム」を作りました。ポイントはその詩の中に自分の名前を入れ込んだことです。詩はもちろん、名前のデコレーションや全体のデザインにもこだわりました。個性豊かな作品が完成し、先生方からも好評いただきました!



☆詩の内容がステキで賞☆

☆名前のデコレーションがステキで賞☆

☆全体のデザインがステキで賞☆



お知らせ

第72回(高校)・第12回(中等部)卒業証書授与式

●時間:3月7日(日)10時開式 ●場所:本校アリーナ(地下3階)

— 高校3年生 高輪会(同窓会)入会式 3月6日(土) —

東海大学付属高輪台高等学校の同窓生の組織として『高輪会』を運営しています。各学年の卒業生より高輪会役員を選出し、その中から執行役員を選出して活動しています。本校の教育活動及び諸行事に協力することはもちろん、東海大学傘下の高等学校とも情報交換し、親密なつながりを持って同窓生の支援を行っています。

行事予定

※予定が変更になる場合があります。

March 3月

April 4月

- 1日(月) 後期期末試験(中1・2:~3日、高1・2:~4日)
- 5日(金) 生徒自宅学習日
- 6日(土) 3年生を送る会(1時限目カット、2限目から特別授業)
高輪会入会式(高3)
新入生制服採寸・教材販売(高校延納者)
- 7日(日) 第72回(高校)・第12回(中等部)卒業証書授与式
- 8日(月) 生徒休業日
- 9日(火) 答案返却
教科書販売(新高3)
- 10日(水) 生徒自宅学習日(~12日)
- 11日(木) 成績不振者指導
- 13日(土) 特別授業(~18日)
- 18日(木) 特別授業(5・6時限カット)
- 19日(金) 修了式・離任式
教科書販売(新高2)
- 20日(土) 春分の日
- 22日(月) 新入生クラス分け試験(高校)
- 25日(木) 春期講習(中1・2:~27日)
- 27日(土) 後援会委員総会④

- 2日(金) 新入生登校日
- 3日(土) 第78回(高校)・第15回(中等部)入学式
- 5日(月) 始業式・対面式・就任式
平常授業(中2・3:~8日) 特別授業(高2・3:~8日)
オリエンテーション(高1・中1:~8日)
- 6日(火) 健康診断・写真撮影(高3、中3)
- 7日(水) 健康診断・写真撮影(高2、中2)
- 8日(木) 健康診断・写真撮影(高1、中1)
- 9日(金) 学園基礎学力定着度試験(高校) 外部実力試験(中等部)
- 10日(土) 通常授業開始(中等部・高校) 校長による現代文明論
- 13日(火) 校医相談日
- 15日(木) オリエンテーション合宿(中1:~17日)
- 17日(土) 短縮授業 保護者会①(高2・3、中2・3)
- 19日(月) 学年集会(高3)
- 21日(水) 新入生仮入部期間終了
- 24日(土) 短縮授業 保護者会①(高1、中1)
- 26日(月) 全校集会(中等部) 憲法記念講演(高1:1・2時限)
- 27日(火) 4時限授業(5・6限カット)
- 29日(木) 昭和の日

東海大学サッカー部 #atarimaeni CUP優勝!

1月23日、サッカー部の卒業生が多く在籍する東海大学サッカー部が、「総理大臣杯」と「全日本大学選手権」の代替大会として開催された「#atarimaeni CUP」で優勝し、大学日本一を達成しました。おめでとうございます。さらなる活躍を期待し、応援しています。

〈東海大学サッカー部に所属する本校卒業生〉

- 2016年度卒 武井成豪・武川剣進
- 2017年度卒 本多翔太郎・小林陸玖・鈴木啓太・今井創一朗・横田萌樹
- 2018年度卒 志村貢令・阿部泰世
- 2019年度卒 藤井一志・鈴木颯太・細野空人・塚原智也・山田喬介・名倉海登



編集後記

高輪台高校・中等部の2021年度入試が終了した。大学付属校の人気の高まる中、本校においても多くの生徒・児童に受験していただくことができた。合格発表の日、合格の喜びを分かち合う親子を見て微笑ましく思う一方で、残念そうに肩を落とす親子の姿を見て、いたたまれない気持ちになる。できることなら、受験者全員に本校に入学してもらいたいが、無理な話である。3年前に本校への入学を勝ち取り、本校での教育課程を修めた3年生が巣立っていく。多くの人の思いと高輪台の卒業生としての矜持を胸に、次のステージでも大活躍してもらいたい。卒業おめでとう!(う)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>